

令和7年度
宮城県立視覚支援学校
小学部5年2組
学習教材記録

宮城県立視覚支援学校
小学部5年2組 担任 及川 郁哉

教材活用の目的・意図

- ・ 弱視児が見通しを持って、活動に取り組めるようにする。
- ・ 自分自身で教材を作成することで、完成したときの達成感や活用の実感を持てるようにする。
- ・ 集中力の持続が難しい児童が、視覚的な手立てで興味・関心を持ち、意欲的に活動できるようにする。

実践例① 「朝の会」

朝の会

①はじめのあいさつ

⑤元気しらべ

②朝のあいさつ

⑥きゅう食こんだて

③朝のうた

⑦今日のよてい

④日付・てんき

⑧おわりのあいさつ

児童の好きな写真を
貼り付け、資料を
見ることへの
意欲を持てるようにする。

それぞれに「終了」の
アニメーションを付与し
終わったものをその都度
消すようにする。

意欲を高めるために
枠や文字の色は
児童の好きな色を使う。

実践例②「一日の予定確認」

※本教材は、児童が作りました。

朝の会

情報センター

児童自身に予定を作成させることでより見通しを持ちやすくする。

画面切り替えのときにアニメーションを付与することで、興味・関心をもって予定確認ができるようにする。

きゅう食

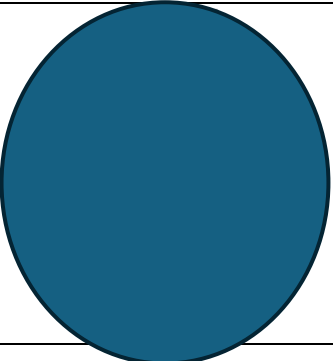
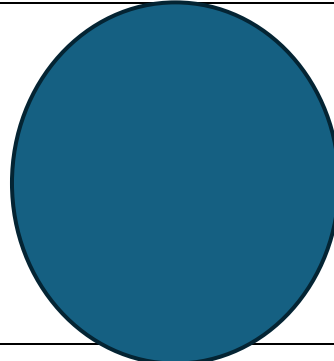
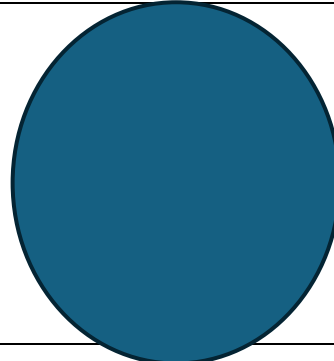
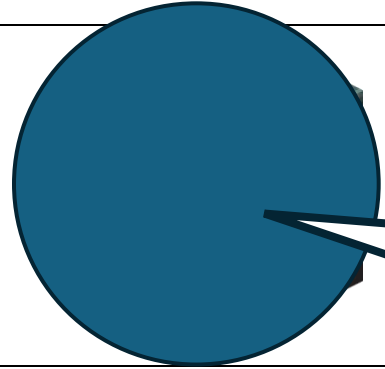
かえりの会

意欲を高めるために
枠や文字の色は
児童の好きな色を使う。

実践例③「大掃除」

大そうじ がんばりカード

終わったところにシールをはろう！

きょうしつ たな	げんかん げたばこ	体いくかん げたばこ	学しゅうしつ ゆか
			

意欲を高めるために
枠や文字の色は
児童の好きな色を使う。

終わった場所にシールを
貼り、触った感触や見る
ことなどを通して、残りの
掃除箇所を確認する。

児童の好きな写真を
貼り付け、資料を
見ることへの
意欲を持てるようにする。

実践例④「エレベーターのランク付け」

<div></div>		
のエレベーター		
エレベーターの絵か、ボタンの絵をかいてください。		
<div></div>		
○とくちょう		
おんせいアナウンスがある。		
<div></div> のエレベーター。		
エレベーターランク		
あまり	ふつう	すばらしい
<div></div>	<div></div>	<div></div>

児童の好きなものの一つである「エレベーター」を活用し、歩行指導時の目的地まで歩く目的としている。

児童の興味・関心のある部分に焦点を当てて特徴を書くように指導している。
対象児の場合は、音声アナウンスやメーカーなど。

歩行指導等の意欲付けにつなげるためにエレベーターに乗ったときの乗り心地などを踏まえてランク付けをする。

実践例⑤ 「校外学習時の絵カード」

1 はじめの
ことば



2 じこ
しょうかい



タブレット端末を持って行くことが難しい場合に、手で持てる大きさの絵カードを準備する。本教材を印刷し、ラミネートを掛けて、どこでも内容が確認できるようにする。

3 ゲーム
(どうぶつの
なきごえクイズ)



4 ゲーム
(10びょうあて
ゲーム)



イラストや写真を貼り付け、活動内容の雰囲気が分かるようにする。

実践例⑥ 「漢字の学習」

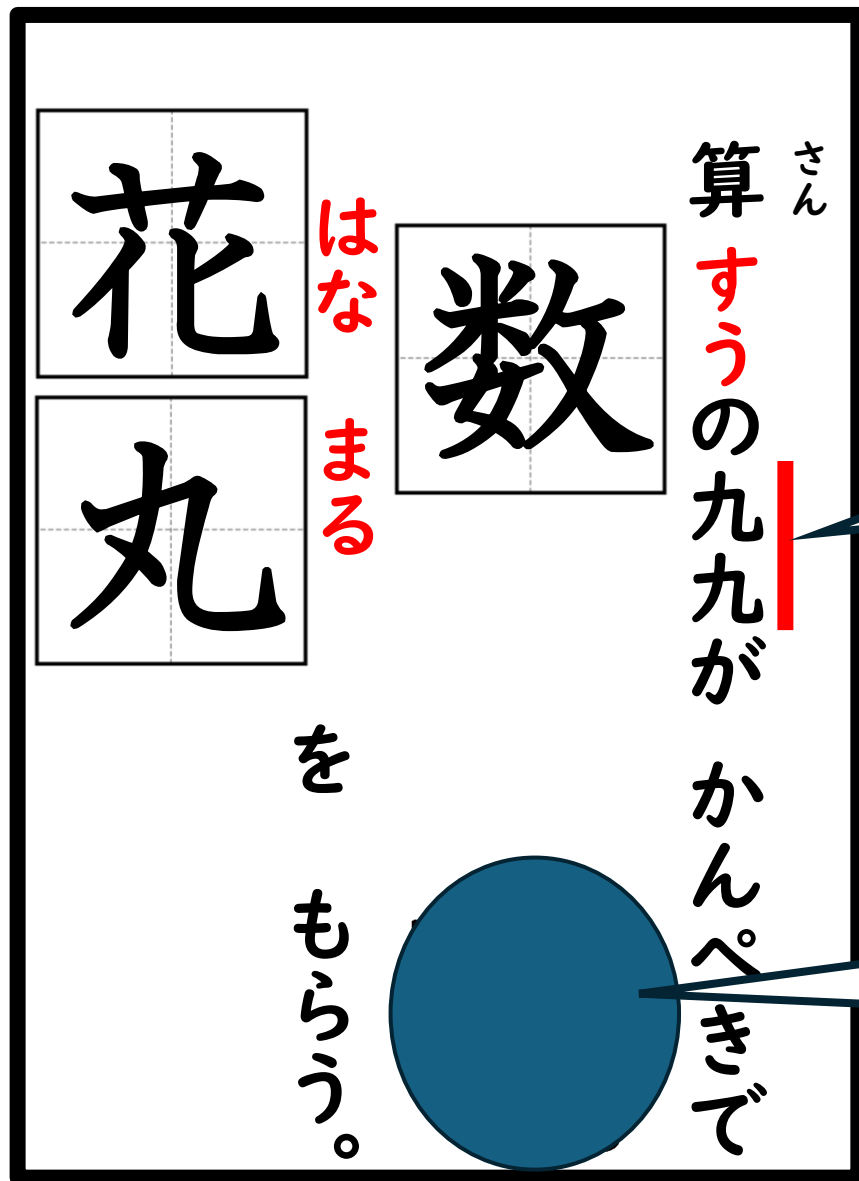
数

かず
すう

左に
米と女を
書いて
右に
ノと一と
メを書く

対象児が書くことのできる文字を
組み合わせながら、手本の漢字が
書くことができるようにする。

実践例⑦ 「漢字の学習」



児童の学校生活や日常生活、好きなことに関連した文章を作り、楽しく漢字練習ができるようにする。

文章に関連したイラストや写真を挿入し、児童が興味・関心を持って文字を書くことができるようにする。

実践例⑧ 「文化祭 劇の台本」

「にじのくに」 台本

: 雨だよ。



意欲を高めるために
枠や文字の色は児童の好きな色を使う。

児童の好きな写真を貼り付け、台本を
見ることへの意欲を持てるようにする。

台詞に関連したイラストや写真を挿入し、児童が
場面の様子を想像しながら、タブレット端末を
操作できるようにする。



児童自身がタブレット端末を操作したり、効果音
を鳴らしたりすることで自己有用感を高める。